

令和7年度 予算 『70th「花咲け、未来」へ新たな一歩』



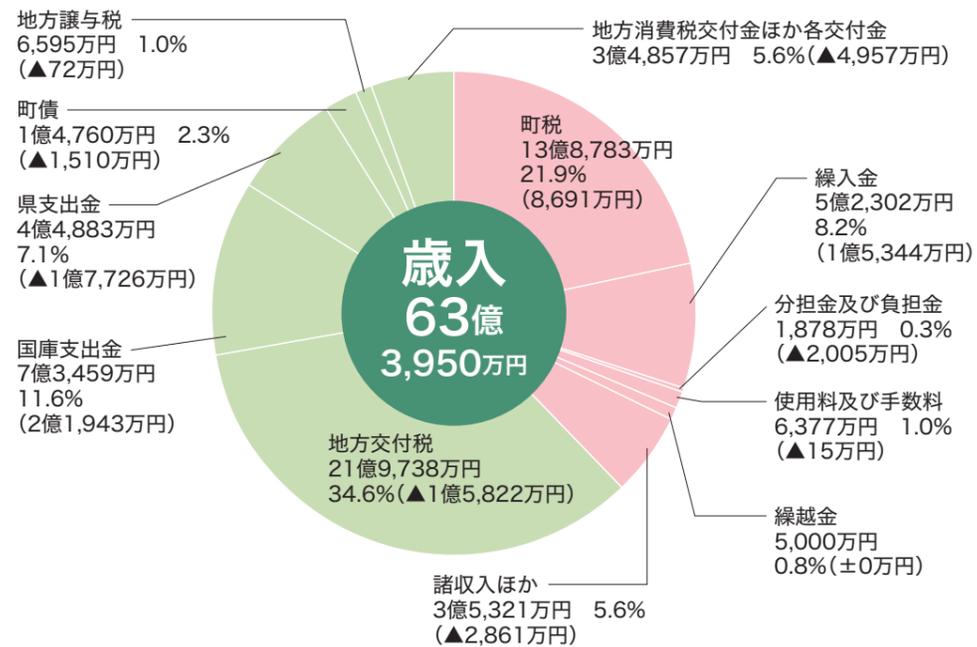
予算特別号については、令和7年度予算の概要、総合計画に掲げる6つの方針に基づく重点プロジェクトおよび主要事業を掲載しています。

一般会計当初予算

63億 3,950万円

令和7年度の当初予算は、予算総額は63億3,950万円となりました。前年度に比べると1,010万円(0.2%)の増となりました。

歳入内訳



※%は総額に占める構成比
()は対前年度増減額を表示

自主財源 23億9,661万円(1億9,154万円)
依存財源 39億4,289万円(▲1億8,144万円)

歳入の特徴

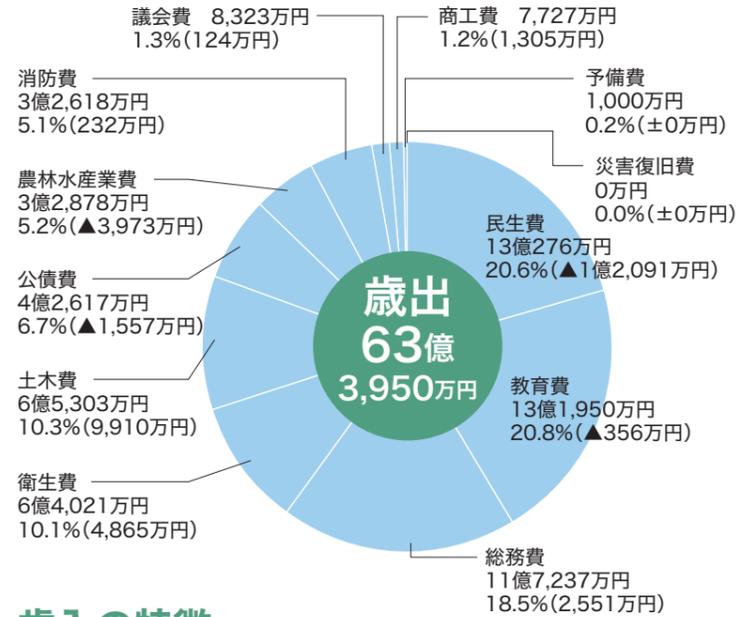
【自主財源】

歳入の約38%を占める自主財源は23億9,661万円で、前年度比1億9,154万円の増額を見込みました。その主な要因は、定額減税の終了による町民税の増収や、財政調整基金からの繰入金が増額を見込んだことによるものです。

【依存財源】

歳入の約62%を占める依存財源は、39億4,289万円で、前年度比1億8,144万円の減額を見込みました。主な要因は、認定こども園設置支援事業の完了などにより県支出金が減額となり、また復興特区(工業団地)の課税免除の順次終了による震災復興特別交付税の減収を見込んだことによるものです。

目的別歳出内訳



歳入の特徴

【目的別歳出】

目的別にみた歳出の内訳については、上段左のグラフのとおりです。教育費、民生費、総務費の順に多くなっており、教育費では「認定こども園に対する支援事業」・「給食費保護者負担軽減事業」、民生費では「児童手当支給や学童施設運営などの児童福祉事業」・「障がい者支援事業」・「高齢者福祉事業」、総務費では「ふるさと納税推進事業」・「地方公共団体情報システム標準化対応事業」へ多くの予算を配分しています。

【性質的歳出】

性質別にみた歳出の内訳については、上段右のグラフに示したとおりです。認定こども園設置支援事業の完了により普通建設事業費が減少した一方で、所得制限の撤廃や支給期間の延長など児童手当の拡充により扶助費が増額となっております。

主な用語説明

【一般会計】

福祉や教育・土木といった一般的な事業に使われ、町の事業の基本となる会計

【自主財源】

町税や使用料など、町が自主的に収入できるお金

【依存財源】

地方交付税など、国や県の意思によって額が決められ割り当てられるお金

【町税】

町民の皆さんが町に納める税金

【繰入金】

各種基金の取崩しや他会計から繰り入れるお金

【地方交付税】

自治体の財政力に応じ、国から交付されるお金

【国庫・県支出金】

特定の目的のために国や県から交付されるお金

【町債】

国や銀行などからの借入金

【民生費】

高齢者・障がい者・児童などの福祉や保育所などに使うお金

【教育費】

幼稚園、小学校、中学校などの教育・文化・スポーツ振興などに使うお金

【総務費】

町政全般の管理経費などに使うお金

【土木費】

道路や公園の整備・維持管理などに使うお金

【公債費】

借入金(町債)の返済に使うお金

【衛生費】

各種検診や予防接種、ごみ処理などに使うお金

【消防費】

消防・水防・災害対策(原発事故対策を含む)に使うお金

【農林水産業費】

農林水産業の振興や農道・林道などの整備に使うお金

性質別歳出内訳

義務的経費 27億6,705万円
(2億6,419万円)

人件費 14億2,803万円 (▲7,441万円)
公債費 4億2,736万円 (▲1,757万円)
扶助費 9億1,166万円 (3億5,617万円)

43.6%

投資的経費 3億8,974万円
(▲2億5,285万円)

普通建設事業費 3億8,974万円 (▲2億5,285万円)
災害復旧事業費 0万円 (0円)

6.2%

その他経費 31億8,271万円
(▲124万円)

物件費 13億2,793万円 (6,472万円)
補助費等 8億6,452万円 (3,528万円)
維持補修費 1億5,656万円 (▲5,607万円)
繰出金 5億8,091万円 (205万円)
その他 2億5,279万円 (▲4,722万円)

50.2%

通常分における町民1人あたりの歳出予算額

()は対前年度増減額

総務費	民生費	教育費	衛生費
町政全般の管理経費などに使うお金 10万7,056円 (3,268円)	高齢者・障がい者・児童などの福祉や保育所などに使うお金 11万8,963円 (▲9,876円)	幼稚園、小学校、中学校などの教育・文化・スポーツ振興などに使うお金 12万492円 (758円)	各種検診や予防接種、ごみ処理などに使うお金 5万8,461円 (4,926円)
公債費	土木費	消防費	農林水産業費
借入金(町債)の返済に使うお金 3万8,916円 (▲1,060円)	道路や公園の整備・維持管理などに使うお金 5万9,632円 (9,503円)	消防・水防・災害対策(原発事故対策を含む)に使うお金 2万9,785円 (476円)	農林水産業の振興や農道・林道などの整備に使うお金 3万23円 (▲3,326円)
商工費	議会費	予備費	災害復旧費
商工業や観光振興などに使うお金 7,056円 (1,244円)	議会運営に使うお金 7,600円 (180円)	使いみちを限定せず予算計上し、軽微な補正に対処するためのお金 913円 (8円)	災害によって生じた被害の復旧に使うお金 0円 (0円)
歳出総額 57万8,897円 (6,101円)			

※令和7年1月1日現在の住民基本台帳人口10,951人を基に算出しています。

各会計の予算額

会計名	令和7年度	令和6年度	増減額	対前年伸率		
一般会計	63億3,950万円	63億2,940万円	1,010万円	0.2%		
特別会計	国民健康保険	12億9,918万円	12億9,165万円	753万円	0.6%	
	後期高齢者医療	2億1,836万円	2億 842万円	994万円	4.8%	
	介護保険	16億8,223万円	17億1,037万円	▲2,814万円	▲1.6%	
	半田財産区	68万円	57万円	11万円	19.3%	
公営企業会計	水道事業会計	収益的収入	3億6,752万円	3億6,713万円	39万円	0.1%
		収益的支出	3億5,169万円	3億5,674万円	▲505万円	▲1.4%
		資本的収入	7,000万円	2,700万円	4,300万円	159.3%
		資本的支出	1億5,720万円	1億2,486万円	3,234万円	25.9%
	下水道事業会計	収益的収入	2億5,305万円	2億5,464万円	▲159万円	▲0.6%
		収益的支出	2億4,420万円	2億5,170万円	▲750万円	▲3.0%
		資本的収入	1億1,415万円	1億4,077万円	▲2,662万円	▲18.9%
		資本的支出	1億6,025万円	1億8,669万円	▲2,644万円	▲14.2%

各種基金(貯金)の現在高

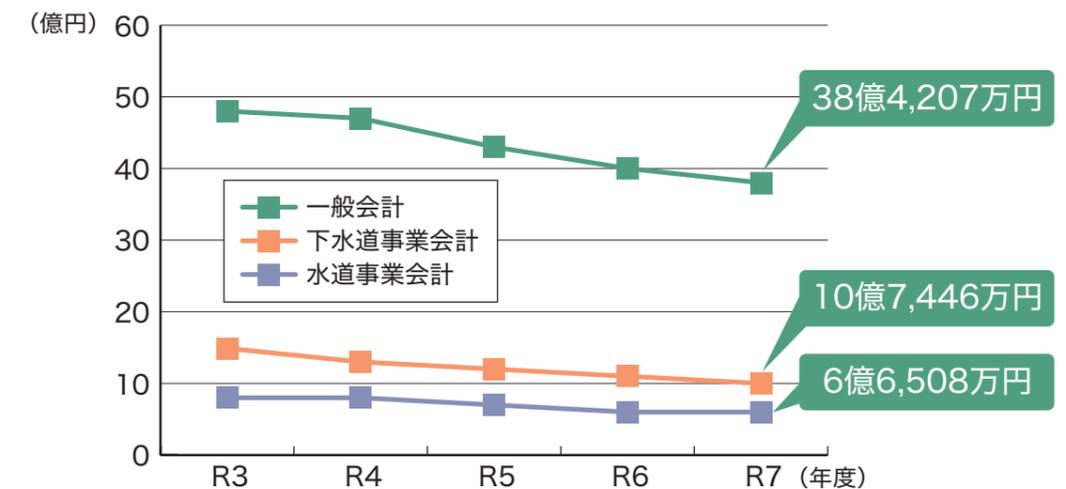
各会計の基金現在高については次の表のとおりです。

会計区分	基金名	令和5年度 年度末残高	令和6年度 年度末残高見込	令和7年度 年度末残高見込
一般会計	財政調整基金	16億4,181万円	17億1,906万円	13億6,451万円
	減債基金	1億3,375万円	1億3,376万円	1億3,392万円
	その他特定目的基金	12億 942万円	12億 889万円	11億9,441万円
	土地開発基金	1億2,021万円	1億2,021万円	1億2,036万円
	奨学基金	8,000万円	8,000万円	8,002万円
	合計	31億8,519万円	32億6,192万円	28億9,322万円
国民健康保険特別会計	国民健康保険基金	8,909万円	9,410万円	9,422万円
介護保険特別会計	介護給付費準備基金	1億8,005万円	1億3,063万円	1億1,026万円
半田財産区特別会計	半田財産区財政調整基金	2,050万円	2,321万円	2,275万円

各会計の借入金残高の推移

一般会計の借入金(町債)、水道事業会計、下水道事業会計の借入金(企業債)の残高の推移はグラフのとおりです。

なお、町債については、その元利償還金の一定割合が「地方交付税」に算入・交付されるものを活用し、後年度における財政負担の軽減を図っています。



※基金残高及び借入金残高について、令和6年度末及び令和7年度末として掲載している金額は3月末日現在の見込みであり、確定した金額ではありません。